

平成28年度 長崎県学力調査 解答用紙 数学 A問題

正答例 及び 採点要領

解答は、ひらがな表記、漢字間違いも正答とする。

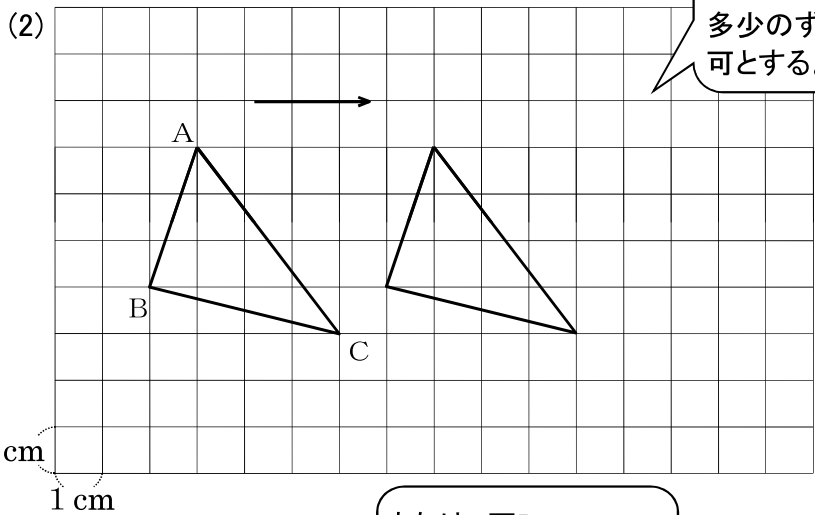
完 答

1 (1) -3 (2) ア, ウ

2 (1) $3x + 1$ (2) イ

3 (1) イ (2) $x = -4$

4 (1) エ



5 (1) 面ABC

または、面DEF
「面」がぬけていても可
 $\triangle ABC$ も可

(2) (ア) $10\pi \text{ cm}$ 表面積 $130\pi \text{ cm}^2$

6 (1) ウ (2) $y = -2x$

(3) ウ (4) $y = \frac{4}{x}$

7 (1) 0.35 (2) 22.5 分

$\frac{7}{20}, \frac{35}{100}$ も可

$\frac{45}{2}$ も可

平成28年度 長崎県学力調査 解答用紙 数学 B問題

正答例 及び 採点要領

解答は、ひらがな表記、漢字間違いも正答とする。

1 (1)

① 4	② 2	③ $x - 1$
完 答		

2 (2)

$3x + 1$	「 $(3x+1)$ 個」等, 単位があっても可
----------	-----------------------------

2 (1)

(解答例)

- ・ 時間が進むにつれ、2人の走った距離の差が大きくなっていていっているようす
- ・ 2人の走った距離の差がだんだん広がっていくようす
- ・ 一方が、もう一方を徐々に引き離しているようす

2 (2)

先にゴールする人	走った距離
健人	4. 8 km
完 答	

2人の走った距離の差について述べてあれば可

3 (1)

(解答例)

- ・ 2つの中学校の度数の合計に差があるから
- ・ 度数の合計が大きく違うから

度数の合計に着目し、その差について述べてあれば可

3 (2)

(解答例)

- ・ 7.8(8.2)秒未満の相対度数の合計を比べると、A中学校は0.25(0.70)で、B中学校は0.18(0.65)なので、B中学校よりA中学校の方が7.8(8.2)秒未満の人数の割合が大きいため。
- ・ 8.2秒以上の相対度数の合計を比べると、A中学校は0.30で、B中学校は0.35なので、B中学校よりA中学校の方が8.2秒以上の人数の割合が小さいため。

(a) 速い方からいくつかの階級の相対度数の合計を比較している。
 (b) (a)の結果、A(B)中学校の方が相対度数の合計が大きい(小さい)こと。
 (c) 遅い方からいくつかの階級の相対度数の合計を比較している。
 (d) (c)の結果、A(B)中学校の方が相対度数の合計が小さい(大きい)こと。
 (a), (b), または(c), (d)について記述していれば可